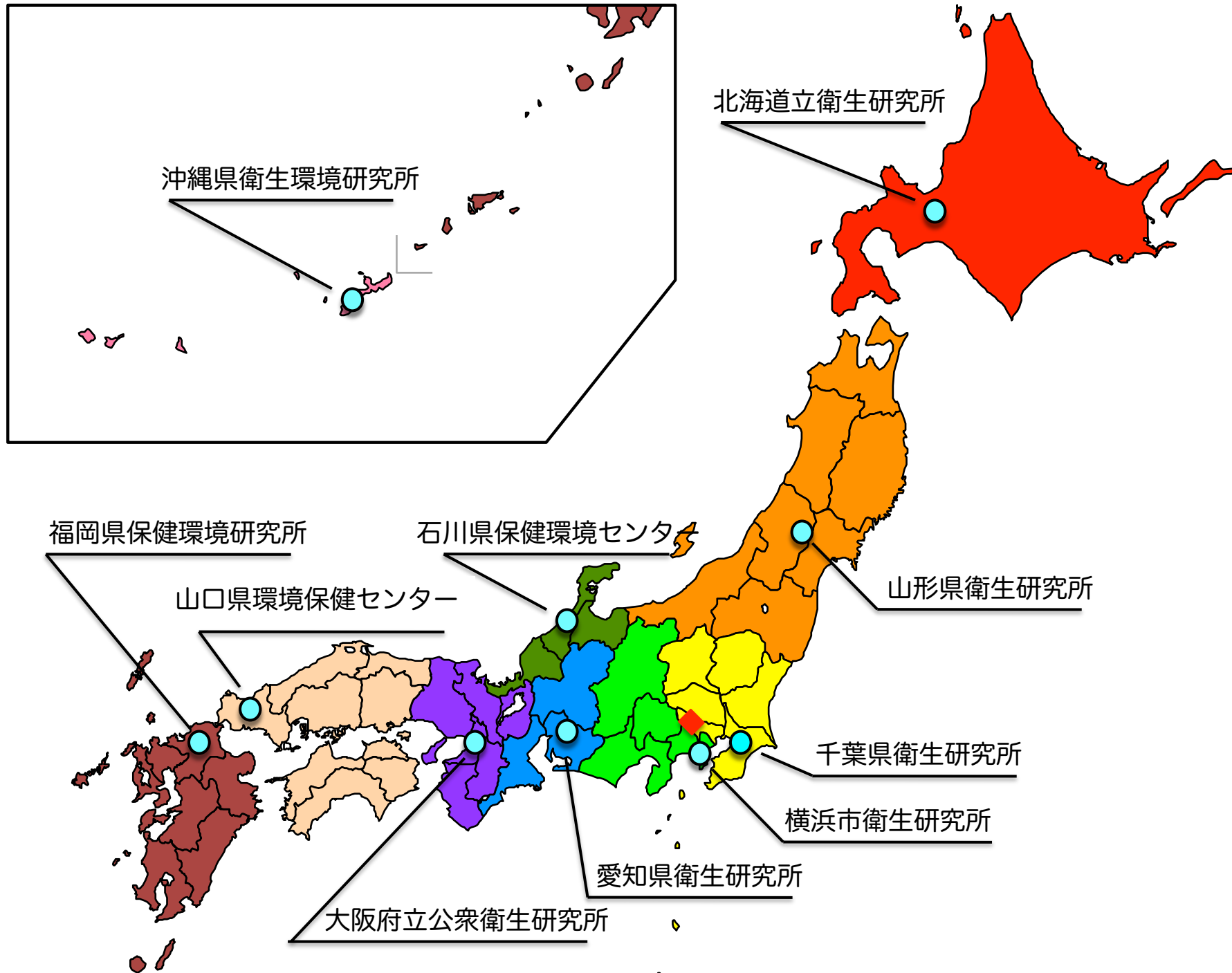


平成24年6月28日
衛生微生物技術協議会第33回研究会
於：神奈川県民小ホール

麻しん・風しん レファレンスセンター報告

麻しん・風しんレファレンスセンター
世話人
国立感染症研究所ウイルス第3部第1室
駒瀬 勝啓

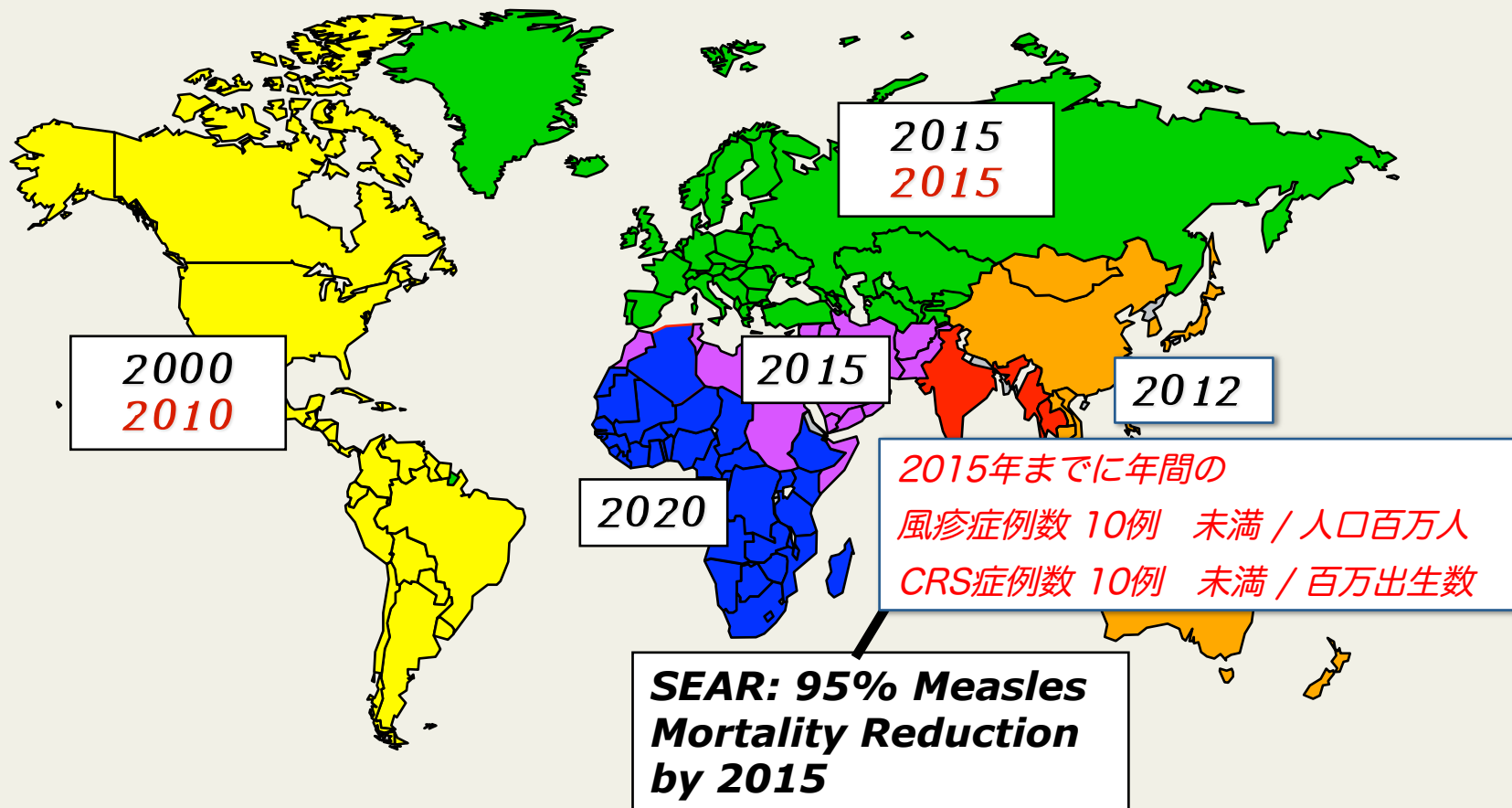


H24年度麻しん・風しんレファレンスセンター

ブロック	所属	担当者
世話人	国立感染症研究所	駒瀬勝啓
北海道	北海道立衛生研究所	岡野素彦／長野秀樹
東北・新潟	山形県衛生研究所	青木洋子
北関東・東京	千葉県衛生研究所	小川知子
神奈川・甲信・静岡	横浜市衛生研究所	七種美和子
東海	愛知県衛生研究所	皆川洋子
北陸	石川県保健環境センター	児玉洋江
近畿	大阪府立公衆衛生研究所	加瀬哲男
中国・四国	山口県環境保健センター	濱岡修二
九州	福岡県保健環境研究所	世良暢之
沖縄	沖縄県衛生環境研究所	平良勝也

Measles and *Rubella* Elimination Goals by WHO Region, August 2011

Americas, Europe, E. Mediterranean, W. Pacific, Africa have measles elimination goals
Americas and Europe have rubella elimination goals



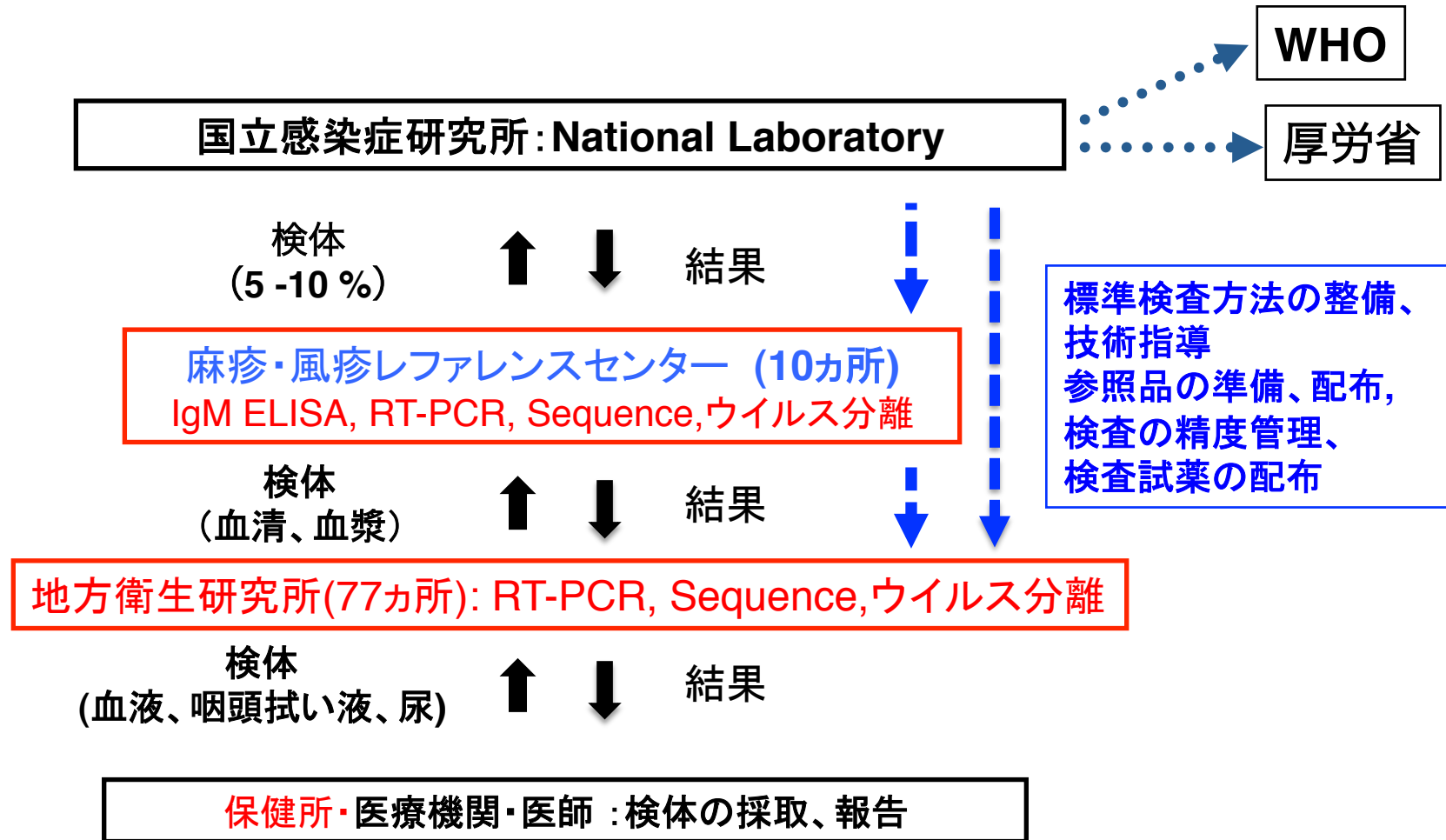
WHOによる麻疹排除の定義

適切なサーベイランスのもとで、常在性の麻疹ウイルスによる麻疹症例が12ヶ月以上ないこと

適切なサーベイランス (WHO)

- 国レベルならびに80%以上の都道府県において、2例以上/10万人口/年の麻疹除外例の報告があること。
- 80%以上の麻疹疑い症例において急性期の麻疹ウイルス感染を検出するために適切な臨床検体が集められ、精度管理された実験室で検査が行われること。
- 検査確定例を含む集団発生のうちの80%以上で麻疹ウイルスの検出に適切な臨床検体が回収され、またその検体が精度管理された実験室で検査されること。
- 全ての麻疹疑い症例のうち少なくとも80%以上で、症例の届出後、48時間以内に適切な調査が開始されること。

地衛研-感染研による 麻疹検査診断ネットワーク



H23年度麻疹・風しんレファレンス活動報告

感染研 → レファレンスセンター

- PCR用試薬の配布(参照RNA)
- 麻疹 IgM ELISA kitの配布
- IgM ELISA測定の精度管理試験 (Proficiency Test) の実施
- IgM kit の非特異反応の研究

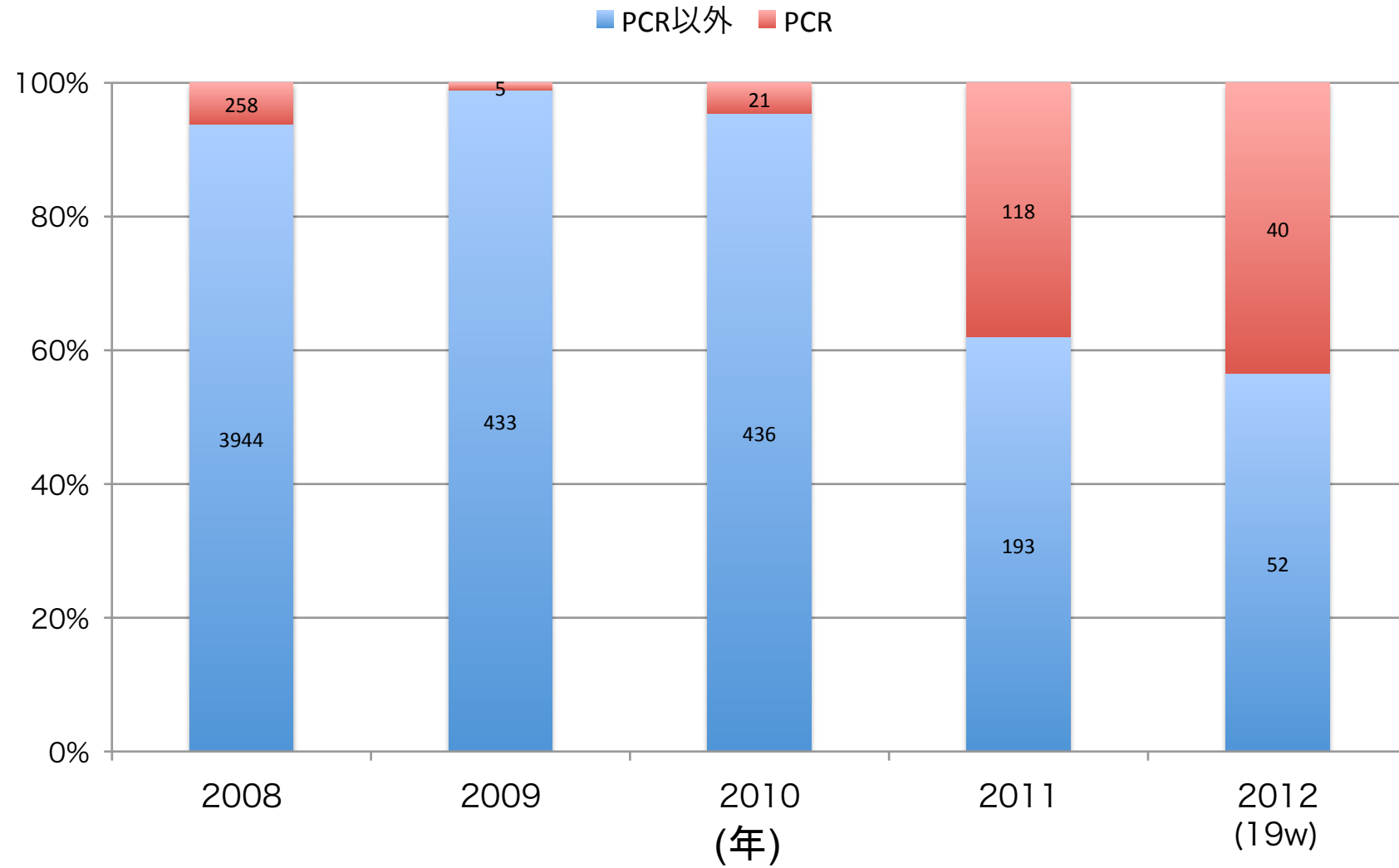
レファレンスセンター → 地方衛生研究所

- PCR用試薬の配布(参照RNA)
- 技術研修
- 情報収集
- 検査診断バックアップ

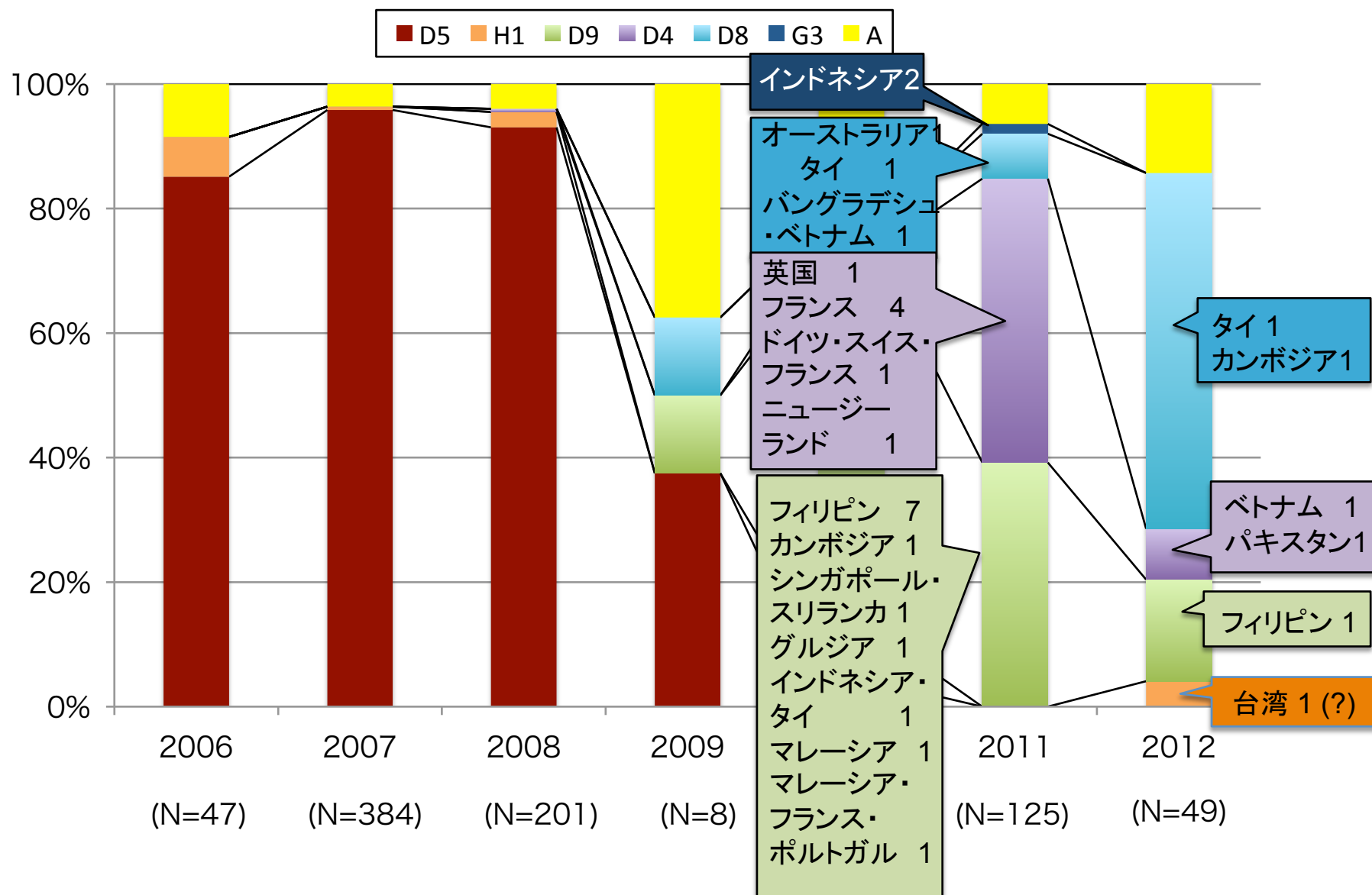
感染研 → 地方衛生研究所

- Vero/SLAM 細胞の配布 (10カ所)

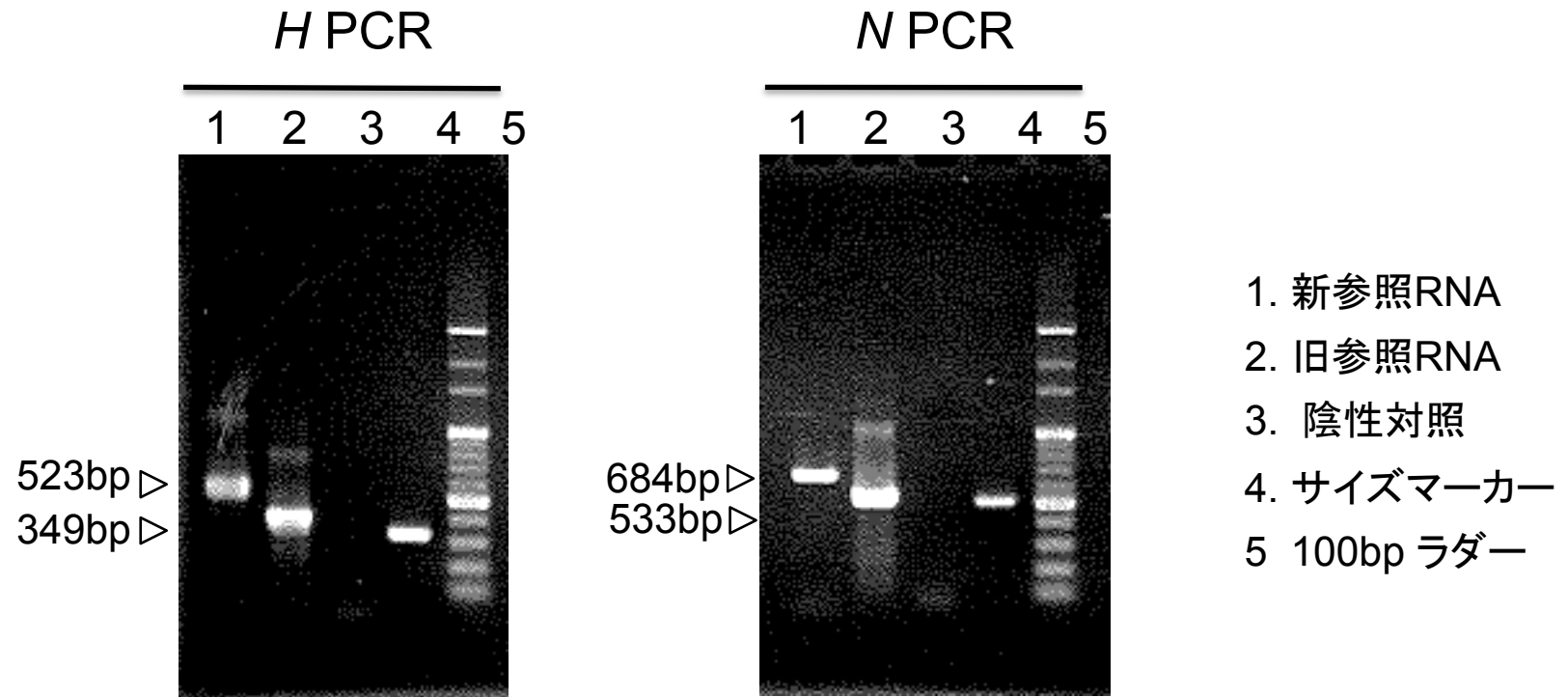
検査診断方法の推移



日本で検出された麻疹ウイルスの遺伝子型の推移



新参照RNA (陽性コントロール) Nested PCR

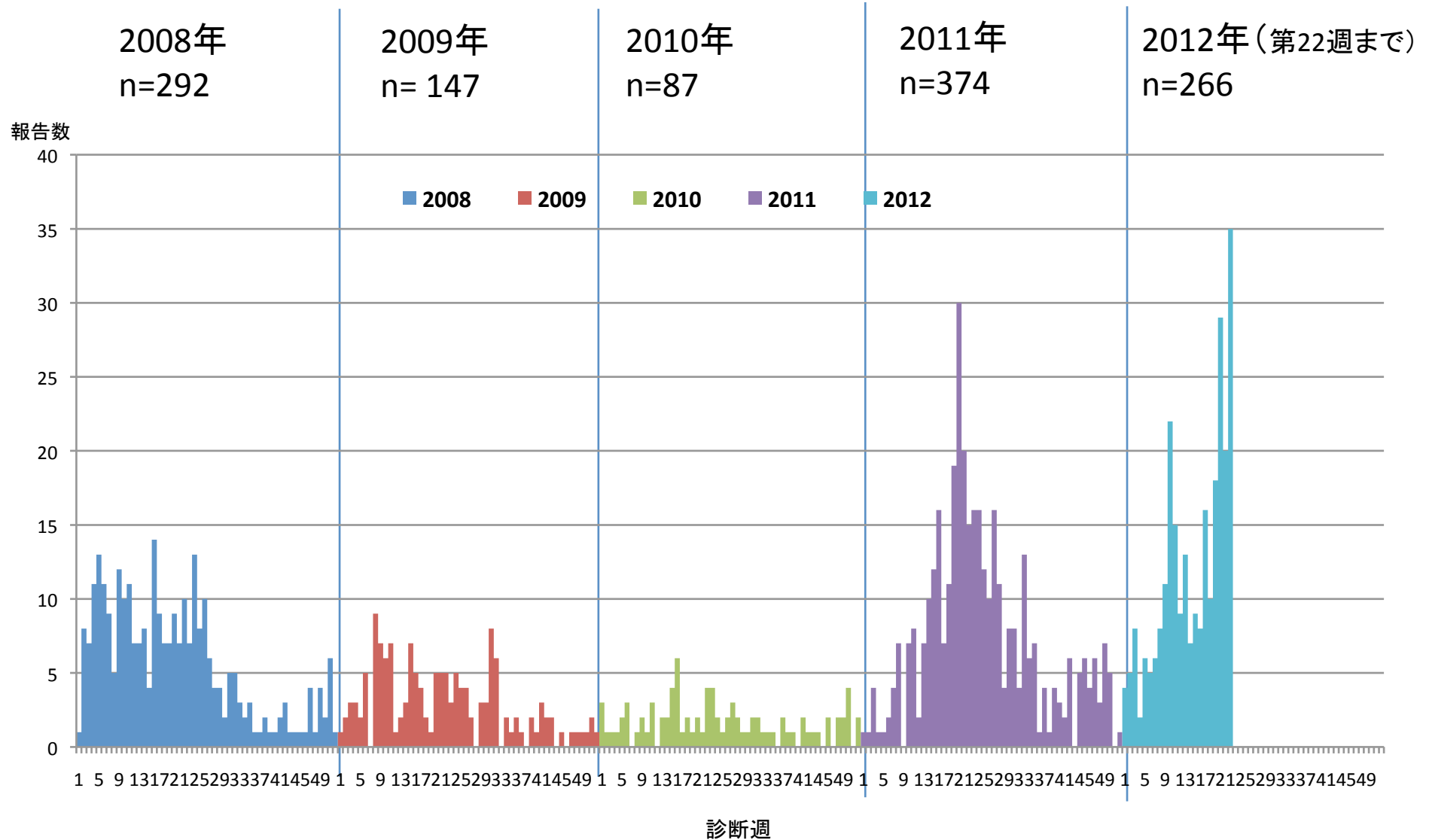


課題

- 検体
地方衛生研究所で実施されるPCR検査の周知
- 診断法
病原体検出マニュアルの改訂
Real-time PCR法の導入
- 情報の集約
地衛研から感染研への検査数、陽性数等の情報、ならびに
ウイルス遺伝子情報の収集

週別風しん報告数の推移

2008～2012年(第1～第22週)



今後の課題

- 風しんウイルスの遺伝子検出系の整理
(病原体検出マニュアルの改訂)